

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 7 月 27 日 (2017.7.27)

【公開番号】特開 2017-23586 (P2017-23586A)

【公開日】平成 29 年 2 月 2 日 (2017.2.2)

【年通号数】公開・登録公報 2017-005

【出願番号】特願 2015-147600 (P2015-147600)

【国際特許分類】

A 4 7 K 11/10 (2006.01)

A 4 7 L 13/17 (2006.01)

D 2 1 H 27/00 (2006.01)

D 2 1 H 19/12 (2006.01)

B 3 2 B 5/26 (2006.01)

【F I】

A 4 7 K 11/10

A 4 7 L 13/17 A

D 2 1 H 27/00 Z

D 2 1 H 19/12

B 3 2 B 5/26

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 9 日 (2017.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明は、

パルプ及び水溶性バインダーとして C M C を含有する実質的に水分散可能な複数プライの原紙シートに水性薬剤が含浸され、

シートの表面と裏面とのうち少なくとも何れか一方の面全体に亘って凸部のエンボスが形成された水解性シートであって、

複数プライの目付が 3 0 ~ 1 5 0 g s m であり、

前記凸部のエンボスは天面部分の面積が  $1 0 \sim 3 0 \text{ mm}^2$  であり、

水平に保たれた所定のタイルの上に当該水解性シートを 4 枚重ねて置き、さらに当該水解性シートの上に重さ 1 k g の重りを載せ、当該水解性シートの一端より水平方向に荷重をかけ、当該水解性シートを 6 秒間で 6 0 m m 移動させたときの荷重を測定し、このときの最大荷重を摩擦力として測定する摩擦力測定を M D 方向、C D 方向で各 5 回実施し、それぞれ各所定回数の測定値の平均を算出し、それぞれの平均値が 4 . 5 N 以上であることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

パルプ及び水溶性バインダーとして C M C を含有する実質的に水分散可能な複数プライの原紙シートに水性薬剤が含浸され、

シートの表面と裏面とのうち少なくとも何れか一方の面全体に亘って凸部のエンボスが形成された水解性シートであって、

複数プライの目付が  $30 \sim 150 \text{ g s m}$  であり、

前記凸部のエンボスは天面部分の面積が  $10 \sim 30 \text{ mm}^2$  であり、

水平に保たれた所定のタイルの上に当該水解性シートを4枚重ねて置き、さらに当該水解性シートの上に重さ  $1 \text{ kg}$  の重りを載せ、当該水解性シートの一端より水平方向に荷重をかけ、当該水解性シートを6秒間で  $60 \text{ mm}$  移動させたときの荷重を測定し、このときの最大荷重を摩擦力として測定する摩擦力測定をMD方向、CD方向で各5回実施し、それぞれ各所定回数の測定値の平均を算出し、それぞれの平均値が  $4.5 \text{ N}$  以上であることを特徴とする水解性シート。